

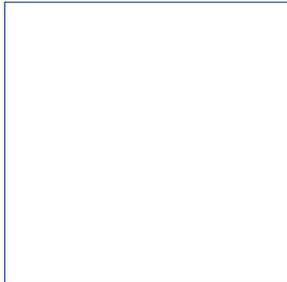
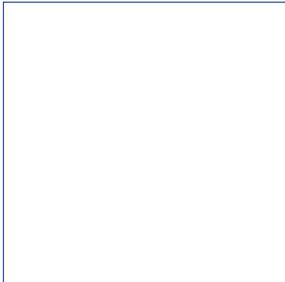
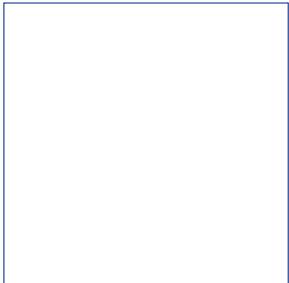
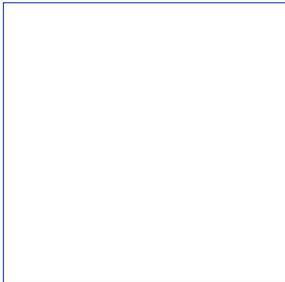
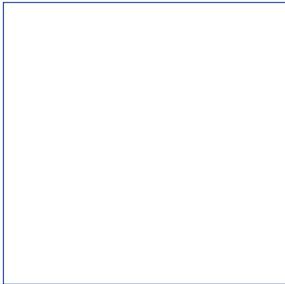
かけはし

1

January
2014 vol.154

かけはしマネジメント対談

東レ株式会社



企業・強みの研究

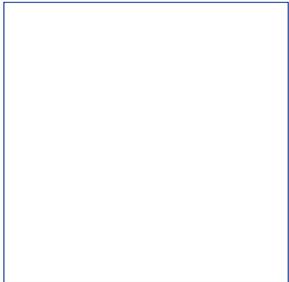
スターエンジニアリング株式会社

時代にどう対応する—企業の持続可能性の研究

京都経節株式会社

地域が変わる—地域活性化の現場

守山





ビジネストーク

「転換」

頭取 大道良夫

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年を迎えられましたことお慶び申し上げます。

さて、当行は今年のキーワードを「転換」といたしました。新年にかける意気込みや目標を端的な言葉で表し、その実現に向けて役員全員が努力するとの決意を込めて毎年、年初に「今年のキーワード」を定めています。

「転換」とは「物事の性質、傾向、方針などが、それまでとは変わること、変えること」(広辞苑)とあります。従来型の発想や行動にとらわれることなく、創造的、革新的、積極的に「変える」、「転換」する、との強い決意を込め、全役員に呼びかけた次第です。

1点目は、発想の創造的「転換」です。すべての業務を「お客さま起点」で見直し、生産性を向上させ、付加価値の高い金融サービスを提供するために、役員一人ひとりが考え、行動を前向きに「転換」し、お客さま、地域社会に向けて私たちがなすべきことを徹底的に追求し、実践します。

2点目は、お取引先のビジネスモデルの革新的「転換」へのお手伝いです。あらゆる業種で生き残りをはかめたビジネスモデルの再構築が進み、そのサイクルはますます速まっています。私たちは、新エネルギー、医療介護、観光、環境、地域振興などの分野を中心に、第2創業を含むビジネスモデルの革新的「転換」、ニュービジネスの創出に、全役員が、地域の未来を創り出すとの「気概」を持って取り組んでまいります。

3点目は、持続可能な社会への積極的「転換」です。

地球の危機が叫ばれるなか、「お金だけを尺度にものを考え、行動する」時代はすでに終わり、意識的「転換」を迫られています。環境と経済、地域社会との「共生」を今こそ真剣に見つめる時だと思えます。

私たちは、経営に環境を取り込んだ「環境経営」、お金の流れで環境を守り育てる「環境金融」に取り組んでおりますが、このような危機意識に立って発想を転換、取り組みを強化して「持続可能な社会」の追求に努めます。

最近、お取引先のお話の中で「5年後、10年後の日本は？ 地域は？ そしてわが企業は？」との話題がたびたび出ます。結論は総じて「今までの延長線のままでは(生き残りは)難しい」というものです。約20年前、すでに同様の疑問を持たれた何人かの経営者の皆さんが「自社の製品、サービスを見直そう。キーワードは、環境である」と「転換」に取り組まれました。そして、創り出された新商品を広く知ってもらいたいと1998年に開催されたのが「びわ湖環境ビジネスメッセ」です。以来、年々盛大になり、日本有数のメッセとして今年で17回を数えようとしています。

今年の景況は回復の兆しにあります。私たちは今こそ、諸先輩が「転換」にかけられた気概と熱意を思い起こし、この「時代の大転換期」に立ち向かわねばなりません。当行も、地域金融機関としての使命を胸に全役員あげて3つの「転換」に取り組んでまいります。

本年も、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

B U S I N E S S T A L K

かけはし

1

January 2014
Vol.154

CONTENTS

02 ビジネストーク
「転換」

かけはしマネジメント対談
03 東レ株式会社
代表取締役社長 日覺 昭廣氏

企業・強みの研究
07 スターエンジニアリング
株式会社

時代にどう対応する—企業の持続可能性の研究
09 京都鯉節株式会社

地域が変わる—地域活性化の現場
12 守山

アジア&ワールド
14 香港における日本料理店の現状について

16 アナリストレポート 県内景気天気図
需要面で前向きな動きがみられ、
全体的に緩やかに回復

18 ズームアップ 県内経済情報
景況感、製造業を中心に大幅に改善
(県内企業動向調査)

20 主要経済指標

21 しがぎんトピックス
グリーン購入大賞で「大賞」を受賞

21 イチ押し! pick up
ザルツブルグ洋菓子店
「スフレチーズケーキ」と「へそくりパイ&へそくりmanju」

22 着眼大局
1年の計
常務取締役 西澤 由紀夫

22 県内データあれこれ
工業統計調査(2012年速報)より



滋賀銀行は、環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、「環境経営」に取り組んでいます。

しがぎんビジネスウォッチング「かけはし」は、<http://www.keibun.co.jp/>でもご覧いただけます。※本誌「かけはし」の名称は、(株)しがぎん経済文化センターが商標登録しています。本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複製(コピー)・複製(転載)を禁じます。

「素材には世の中を変えていく力がある」 膨大な技術の蓄積で、先端材料に挑み続ける。

最新鋭旅客機ボーイング787型機の機体に全面採用された炭素繊維。昨年、1億4,000万枚を売り上げた「ヒートテック」。革新的な素材を次々と生み出す開発力で快進撃を続ける東レ。その発祥の地である大津市の滋賀事業場に日覚昭廣社長をお訪ねした。「現場にこそ真実がある」「ひとつのテーマを掘り下げれば必ず新たな発見がある」「短期的利益を追求する欧米流とは真逆の日本的経営を尊びたい」。世界の素材産業のリーディングカンパニーを率いる経営者が語ったのは、人に役立つものづくりに情熱を注ぎ、素材開発を通じた社会貢献を志すイノベーション魂だった。



東レ株式会社

代表取締役社長

日覚 昭廣氏

interviewer

頭取 大道 良夫

取締役東京支店長 十二里 和彦

「研究・技術開発が明日を創る」 新素材への挑戦こそが使命

大道 ● 東レさんの製品で最も身近なのは、ユニクロと共同開発された「ヒートテック」ですね。体から発散する水蒸気によって繊維自体が暖かくなる発熱性に加え、優れた保温性や消臭・抗菌性を備えていて快適な着心地です。寒がりの私もたいへん重宝しています。

日覚 ■ 「ヒートテック」は昨年、1億4000万枚を売り上げました。ポリエステルやアクリル、伸縮性に富むスパンテックスなど4種類の繊維を組み合わせることで多様な機能性を付与したのですが、これだけの種類の繊維を使い、高品質を維持しつつ膨大な量を生産できるのは当社だけではないでしょうか。それを可能にしたのは、創業以来貫いてきた「研究・技術開発こそ、明日の東レを創る」という信念です。「素材には社会を本質的に変える力がある」との考え方もと常に新しい素材、革新的な素材を世の中に提供していく。そこにこそ私たち素材メーカーの進むべき道があると信じています。

大道 ● 東洋レヨンとして1926年に設立以来、レーヨンやナイロン、ポリエステルなど画期的な新素材を次々と手掛けてこれ、71年には世界で初めて炭素繊維

の商業生産を開始されました。東レさんの88年間の歴史はまさに革新的な素材への挑戦の歴史だといえますね。

日覚 ■ 私たち素材産業の開発は、家電や自動車といった組立産業に比べると長い時間を要しますが、社会的認知度も比較的低いのですが、素材が変わることが社会の発展にもたらすインパクトは極めて大きく、重い社会的役割を担っていると自負しています。その使命を果たすため、東レでは時流に流されない腰を据えた基礎研究を重視してきました。多数の研究も技術開発者を多様な分野に配していることも大きな強みです。彼らの間で語り継がれるのが「深は新なり」というキーワードで、ひとつのテーマを深く掘り下げていけば必ず新たな発見や発見に到達できるという東レのイノベーション魂です。

大道 ● そのような広範な領域にわたる

研究・技術開発を統括する「技術センター」の役割を担っているのが、この滋賀事業場だと伺っています。

日覚 ■ そうです。技術センターを核にすることで、さまざまな技術の融合や、ある分野の先端材料を別の分野で迅速に展開するといった総合力を発揮できます。この滋賀事業場は、レーヨン系生産工場として1927年に操業開始した東レ発祥の地です。現在は約84万㎡の広大な敷地の中で、繊維やフィルム、電子情報機材、炭素繊維複合材料など当社が展開するほぼすべての分野の製品を生産しています。そして製品をつくるだけでなく、新素材を創る研究機能やその生産技術の確立を目指す技術開発機能も併せ持つ東レグループ最大の複合工場であることが一番の特長です。

十二里 ● フィルムや地球環境、先端材料

など多くの研究所がありますね。事業場を本拠地とする東レアローズ女子バレーボール部や東レ滋賀ポーター部の活躍もあつて、東レさんを身近に感じています。

世界の企業が撤退した炭素繊維で 頑なに貫いた信念

大道 ● 「時流に流されない研究開発」といえば、1960年頃から手掛けてこれた炭素繊維に思い至ります。80年代には世界中の企業が挑んでいたものの、なかなか事業化につながらず多くが撤退しました。その中で東レさんは「必ず世の中に役立つ」との信念を曲げず、50年を経つのに最新鋭中型旅客機ボーイング787型機での全面採用を実現されました。

日覚 ■ 私が入社した73年には当社はずでに炭素繊維の商業生産に成功しており、当時から「この軽くて強い新素材を航空機に使いたい」という夢を描いていました。ですが、航空機に採用されるためには品質面や安全性の検証面でクリアしなければならぬ高度な技術的要素があり、平坦な道りではありませんでした。この間、炭素繊維の特長を生かせるゴルフシャフトや釣り竿などを手掛け、特に釣り用の細くて長い竿に挑んだ経験は大きな財産になりました。その技術の蓄積が80年代に767型機の



炭素繊維や人工皮革、金属光沢調フィルムなど、東レの誇る先端材料技術を使用した次世代型コンセプトEV(電気自動車)



RO(逆浸透)膜によるトリニダード・トバゴの海水淡水化プラント



衣料用から産業資材用まで多様な繊維製品を前に、左からショールームスタッフ、種市滋賀事業場長、日覺昭廣社長、大道頭取、十二里支店長

可動翼(フラップやエレベーター)などの二次構造材、90年代初頭の777型機での水平・垂直尾翼など一次構造材への採用に結びつきました。

大道●なるほど。それから777型機向けに20年にわたって素材を供給してきた強い信頼関係が787型機につながったわけですね。

日覺■2011年に就航した787型機が画期的なのは、主翼や胴体などの構造体に重量比で約50%も炭素繊維が使われて

人口増加が続く世界市場において 繊維は今後も成長産業

大道●「ヒートテック」や「ウルトラライトダウン」の大ヒットなどで、繊維分野は2013年度、過去最高益を更新されるそうですね。この収益力の源泉はどこにあるのでしょうか。

日覺■まず、蓄積した技術力と多彩な製品群です。高機能な繊維はまさに東レの本丸。「多様な機能性や質感、風合いを自由自在に生み出す技」は他社の追随を許しません。今後、中国やアジア諸国の生活水準がさらに向上していけば市場は拡大し、「高機能で高感度な衣類」への欲求はどんどん大きくなっていくでしょう。当社が何十年と蓄積してきた繊維の技術が花開く時がきたと思っています。

いることです。この世界初の「炭素繊維でできた航空機」は、優れた燃費向上で中型機では無理だと思われていた大型ジェット旅客機並みの航続距離を実現しました。

大道●世界中の企業が撤退した炭素繊維事業で御社が成功できたのはなぜですか？

日覺■四半期決算を重視する欧米では、何期にもわたって利益が出ない事業は継続できず、先端素材のような時間のかかる開発は大企業よりもベンチャーがその役割を担っています。日本の企業には、規模の大小を問わず「こんなものを創りたい」と情熱に燃えて挑み、ねばり強く研究開発を継続する体質があります。当社には「素材で社会を変えよう」と挑み続けてきた88年の技術の蓄積があり、炭素繊維では50年の蓄積があります。長期的視点に立った研究開発とそれを支える本格的な経営戦略が炭素繊維事業を開花させ、航空機での採用にまでつながったのです。

多様なろ過膜技術を駆使して 海水の淡水化、汚水の浄化に

大道●今後は自動車への採用も伸びていきそうですか。

日覺■炭素繊維には高強度、高弾性の付加価値の高い製品と比較的低価格の

大道●現在71億人の世界人口は2030年には83億人に達するとされます。世界へ目を向ければ、繊維は今後も成長産業ですね。

日覺■東レには原糸・原綿から縫製まで一貫して手掛ける独自モデルがあり、これも高い収益性の源です。それを支えてくれたのが高い技術を持つ織り、編み、染めなどの加工業者が集積する産地でした。近年は衰退してしまいました。私たちは産地の技術を守るべく、北陸に「東レ合織クラスター」を設立。当社と産地企業が手をつなぎ、国内繊維産業の復権と国際競争力の強化を目指しています。

短期的利潤を追う欧米流とは対極 「日本の経営」を目指したい

大道●日覺社長ご自身についてですが、最初の配属先はこの滋賀事業場だったそう

2種類があり、当社が手掛けてきたのは付加価値の高いものです。鉄に比べてかなり高価なため、現在はレーシングカーやトップクラスの高級車での採用にとどまっています。昨年、コストと性能のバランスが良い低価格製品の生産に長けた米国ゾルテック社を買収することができました。今後は、この2種類の炭素繊維の持ち味を生かしながら、コスト競争力を強化して自動車用途での採用拡大を図っていくと考えています。

十二里●炭素繊維による燃料電池向け部材の開発にも注力されていますね。

日覺■炭素繊維からつくったカーボンペーパーを基材にする電池電極がその代表例です。漏電の原因となる毛羽立ちが少ないなど、東レならではの均質に炭素繊維をつくる技術を投入しています。また、燃料電池の高性能化に貢献しようと、水素を収めるタンクやボンベ、電解質膜などの部材も開発しています。

大道●「環境・エンジン・アリンク」分野に目を転じると、海水の淡水化や汚水を浄化する

日覺■はい。実は当時は新婚で、比叡山へドライブしたり、マキノにスキーに行ったりしました。石山駅前や浜大津ではよく飲みましたね(笑)。仕事では工場や生産ラインの新増設・保全を受け持つ工務からスタートしたため、その経験からも「現場にすべての真実がある」と考

えるようになり、現在の経営姿勢の礎になっています。いまは技術も市場調査もシミュレーションだけで終わらせる時代ですが、常に現場主義を意識しています。技術開発や工場だけでなく、営業もすべて「現場」です。海外勤務時代にはデータだけですべてを判断する欧米流のやり方とよく衝突したものです。

大道●なるほど。欧米流経営に対して

水処理事業が伸びています。アルジェリアの海水淡水化プラントをはじめとする大型案件を複数受注されていますね。

日覺■RO(逆浸透)膜、NF(ナノろ過)膜など多様なろ過膜の技術を持っているのが東レの強みであり、当社がろ過膜を用いた施設が全世界で毎日、720万㎡の海水と1660万㎡の灌漑水(かんがい)を淡水化、250万㎡の下排水を浄化処理しています。これは合計すると約1億人分の1日の生活用水に匹敵する量です。世界6拠点の営業網整備などが功を奏して、ろ過膜の累計出荷量は2010年に世界トップ水準を達成できました。今後も各地の水質に適した水処理膜システムで、世界の水枯渇問題に貢献していきます。



海水の淡水化や汚水の浄化に、東レのろ過膜技術が活躍する

「日本の経営」を大切にされる視点ですね。

日覺■欧米流の経営には企業の社会的使命や従業員満足といった視点が薄く、腰を据えた研究開発はできません。私たちの基本的考えは「企業は社会の公器である」ということです。日本では、社会に尽くそうとするマインドが中小企業にも定着しています。そんな日本的経営の美点はグローバル化が進めば進むほど真価を発揮するのではないのでしょうか。

大道●「新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」という御社の理念がさらに輝きを増す時代になっていると思います。本日のお話で東レさんをますます身近に感じるようになりました。お忙しいところ、誠にありがとうございました。

DATA



代表取締役社長 日覺 昭廣氏(ひしかくあきひろ)

1949年兵庫県生まれ。71年、東京大学工学部卒業。73年、東京大学大学院工学系研究科修士課程を修了して東レ株式会社に入社。取締役エンジニアリング部門長、専務取締役水処理事業本部長、代表取締役副社長等を経て、2010年に代表取締役社長に就任。

経営理念

わたしたちは新しい価値の創造を通じて 社会に貢献します

経営基本方針

お客様のために 新しい価値と高い品質の製品とサービスを
社員ののために 働き甲斐と公正な機会を
株主のために 誠実で信頼に応える経営を
社会のために 社会の一員としての責任を果たし相互信頼と連携を

【会社概要】

東レ株式会社

- 資本金/1,478億7,303万円
- 東レグループ会社数/国内100社・海外136社
- 主な事業内容/繊維、プラスチック・ケミカル、情報通信材料・機器、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、ライフサイエンスその他
- 本社/東京都中央区日本橋室町2-1-1
- 滋賀事業場/大津市園山1-1-1
- URL/http://www.toray.co.jp/

【プロフィール】

- 1926年 「東洋レーヨン株式会社」設立
- 1941年 ナイロン6の合成と溶融紡糸に成功
- 1970年 「東レ株式会社」に社名変更
- 1971年 炭素繊維「トレカ」の生産に成功
- 1980年 逆浸透膜エレメント「ロメンブラ」を開発
- 1986年 家庭用浄水器「トレビノ」を発売
- 2003年 先端融合研究所(鎌倉)を開所
- 2006年 DNAチップ「3D-Gene」を開発
- 2011年 E&Eセンター(瀬田)を設立



滋賀事業場

企業・強みの研究

Strength of the company



代表取締役 和田英幸氏

Voice

工場・プラントの電気計装工事を軸とする「総合エンジニアリング」が当社の強みです。その技術力を事業用ソーラー発電や省エネシステム等の「サステイナブルエンジニアリング」へ展開して、皆さまの困りごとを解決します。

Profile

- 本社/守山市二町町198-1
- 設立/1988年
- 資本金/2,000万円
- 従業員数/40名(グループ会社含む)
- 事業内容/電気・計装・空調設備工事、電気・計装保全、機械装置設計・製作、機械保全、電気・空調・消防設備の保安管理、事業用ソーラー発電システム、省エネシステム提案 その他

<http://www.star-eng.co.jp/>

スターエンジニアリング株式会社

工場の設備保全で培った「困りごとと解決力」が電力を「創り・蓄え・賢く使う」独自のシステムを構築。

事業の持続可能性を高める

「サステイナブルエンジニアリング」

企業活動に必要なエネルギーを自ら創り、蓄え、賢く使う。そんなエネルギー利用システムの構築によって、取引先企業の経営力と事業の持続可能性を高めた。そんな思いを込めて「サステイナブルエンジニアリング」と名付けた次世代型事業に取り組んでいるのが、スターエンジニアリングだ。

あるメーカーへの提案事例を見てみよう。新築工場の屋根に100キロワットのソーラーパネルを設置する際、電力の「見える化」と「デマンド制御システム」を提案

「見える化」と「デマンド制御システム」を提案して効率化を実現した。電力使用状況を常にモニターに表示する「見える化」によって従業員の節電意識を高め、「デマンド制御システム」で使用電力量を逐次計測して契約電力を超えそうな場合は自動的に空調等を停止させる。これら「電力を賢く使うためのシステム」に必要なコントローラーや計測ユニット等の各種モジュールの選択・調達はもちろん、データをやり取りする社内LANなどの設計、それらの要素をまとめ上げるプログラムまで、すべてスターエンジニアリングが手掛けた。

ソーラーパネルや付帯機器の販売は同社の本業ではない。顧客が要求するエネルギー利用のカタチを実現するために、必要な各種機器や電気設備・配線を最適化し、情報ネットワークを組み入れ、オリジナルの管理ソフトまでつくる。このような導入前の設計から運用中の保守・管理まで、一括して請け負うことができる「総合エンジニアリング」が最大の特長だ。

メカトロに精通しているから、その電気設備をまるごと最適化できる

和田英幸社長は自社の強みについてこ



太陽光発電を活用した電力の「見える化」と「デマンド制御」を実現

るごと最適化できるのは、1988年の設立以来、設備総合エンジニアリング事業で培ってきたメカトロニクスの技術力があるからだ。ある化学メーカーの生産ラインには同社の電気系・機械系エンジニアが常駐。生産設備を増設する際の電気配線に始まり、設備仕様変更時の設計・ソフト変更や故障発生時の点検・修理も受け持つ。空調の故障や照明の取り替えまで細やかに対応している。

故障の際は生産設備をつくった設備メーカーへ点検・修理を依頼するのが普通だが、メーカーが遠方であったり、長時間



びわ湖環境ビジネスメッセに出展



横浜スマートコミュニティ「スマートセル」で未来のエネルギーシステムを実験中



小水力発電装置「スピーニング」の実証実験

ラインを止められない場合も多く、湖南地域に生産拠点を置く多くの製造業はフットワークの軽い同社を頼ってくる。「日々のメンテナンスで培った実績により、ラインの新設・増設の場合でも、私たちが生産設備に生命を吹き込むことも多くなってきた。工場の受変電設備や電気配線、情報ネットワーク、制御プログラムまで当社が担当」。

そんな自社の業態を和田社長は「お客さまの困りごとと解決策」だと強調する。取引先は湖南地域の製造業を中心に約150社。そのすべてが直接取引だ。「電気料金削減や省エネに関する困りごと」にエンジニアリングの立場から取り組むことで、自ずとサステイナブルエンジニアリング

コミュニティの未来を変える 自律分散型エネルギーシステム

近い将来、電力小売自由化や発電電分離がスタートすると、今後は電気をいかにうまく使うかが求められるようになる。次の時代を見据え、同社では未来の住宅・コミュニティを探る企業コンソーシアムプロジェクト「横浜スマートコミュニティ」を「スマートセル」に参画して「自律分散型エネルギーシステム」にも取り組んでいる。本プロジェクトでは、再生可能な自然エネルギーを利用しながら、次世代パワーコンディショナーにより電力の「創る」「蓄える」「賢く使う」を双方向に制御。緊急時

も含めて「電力を自律供給できるコミュニティ」を実現するエネルギーシステムを実証実験中だ。現在、同社が開発したりユースソーラー発電システムや透器ヘッドEV充電スタンドをこのエネルギーシステムに接続して性能を検証している。

また、地元の環境モデル都市構想の研究會に加わって、将来は自律分散型エネルギーを組み入れた全国初の実証モデルを創り上げたいと意気込む。創エネルギーでは水路や河川で使える小水力発電装置「スピーニング」を開発して、「しが低炭素リーダー賞」も受賞した。「困りごとと解決」の対象は事業所からコミュニティへ、未来の都市問題へと広がり始めている。

京都鰹節株式会社

関西風だしに必須の削り節、昆布を提供
和食の枠を超え、食文化の発展に貢献する。

創業百三十余年、京都鰹節は独自の仕入れシステムと最新鋭の加工設備を完備し、

関西風だしに必須の最高品質の削り節、昆布を提供し続けてきた。「伝統を超える革新性」をスローガンに、
新商品開発などの挑戦を遂行。和食の枠を超え、豊かな食生活と外食産業の発展に貢献する。

Sustainable Action

経営環境が大きく変化する現在、「企業の持続可能性」が注目されています。このコーナーでは、新分野進出、事業転換、海外進出などの戦略により事業を持続してきた企業を取り上げ、その経営のヒントを紹介します。

食のプロのニーズに応え 全国約5000店に直接配送

御社の事業の概要を教えてください。

志村 ■1877(明治10)年の創業以来、当社は削り節や昆布などを中心に飲食店向けの卸販売を行ってきました。鰹節は主に鹿児島県枕崎や静岡県、サバ、ウルメイワシ、宗田鰹などの雑節は九州、四国の産地から直接買い付け、冷蔵保存して熟成させた上で削り加工し、顧客のニーズに個別対応した配合や調節を行っています。昆布は北海道漁連から入札で直接買い付けることで良質の天然物を確保し、安定的に供給しています。

また、食文化の変化に対応し、調味料、加工品など商材の拡充を進め、古くからお

付き合いのある和食店、うどん店などに加え、ラーメン店、中華料理店との取引も広がってきました。現在では全国約5000店のお得意先と直接取引させていただいています。

鰹節の中華風だしを開発 Wスープラーメンを提案

得意先にラーメン店も多いというのは意外ですが？

志村 ■ラーメン店との取引が拡大したのは、1971(昭和46)年に、削り節をブレンドした「中華だしパック」を独自に開発し、鶏ガラや豚骨のスープが中心だったラーメン店に対して、積極的に新規開拓を行った時からです。今では当たり前になった動物系と魚介系を合わせた「W(ダブル)スープ」を、い

早く提案したのは当社だと自負しています。鰹節の新しい可能性を引き出して、新分野を開拓されたわけですね。

志村 ■当社は「伝統を超える革新性」をスローガンに掲げ、常に危機感をもって、新しいことに挑戦してきました。先代社長である父志村政雄は49年に「味の素」の販売代理権を取得しました。この決断は同業者からかなりの批判を受けたようです。しかし、将来、鰹節と「味の素」が外食産業で共存していくことになる、先代は見事に予見していたのです。

時代の先を読むことには常にリスクが伴います。ですから、私は「準備は悲観的に、結果は楽観的に」を心掛けています。最悪の事態も想定して万全の準備を整えて事に臨めば、会社を危機にさらすことはありません。

新しい挑戦の一方で、変わらずに守り続けていることはありますか？

志村 ■当社は創業以来変わることなく「味」一筋にやってきました。削り節は熟成の期間、鰹節や雑節の配合具合によってその店の味が出ます。当社は南区に本社移転後、94年に熟成のための冷蔵倉庫を備えた西館、99年にプラントステーション(工場)を建設するなど、積極的に加工設備の拡充に投資し、プロの選択に応える最高の品質を実現することに努めてきました。プラントステーションは国際基準HACCPの認証を2006年に取得し、食の安全性ももちろんのこと、鰹や昆布などそのものの天然の味を生かすことにこだわっています。

和食WASHOKUを世界へ 本格的海外進出をにらむ

鰹節や昆布の将来性をどのように展望されていますか？

志村 ■70年に入社した当時から、これからは日本は確実に高齢化が進み、グルメ志向、健康志向が強くなり、その傾向に依る和食の需要は伸びるだろうと確信していました。先月、和食がユネスコの無形文化遺産に登録され、改めてその良が見直されています。私達のビジネスにも今、強力な追い風が吹いています。

経営は胆力。トップは初めに泣き、最後に笑う

志村 ■海外進出へ本格的に取り組んでいくとしていきます。先頃、海外戦略室を設置し専門スタッフも招きました。10年にシンガポール、昨年夏には香港の商談会に参加、今月にはサンフランシスコの商談会に出展し、アメリカでの可能性を探ってくるつもりです。鰹節を日本から輸出するのはなく、海外に生産・加工拠点を開設し、そこから日本食の人気の高い国々へ直接届けるという時代がやってくるかもしれません。

志村 ■「体力・気力・胆力」。経営者が最後に問われるのは胆力です。商売は厳しい。丸裸になる覚悟で決断を下さなければならぬ時もあります。だけど、楽しい。好きな商売の道を歩んで来られて、私は幸運です。これも社員のおかげと感謝しています。

志村 ■大事にしているのは、トップ自らが率先して行動し、各方面に人間的つながりを築くことです。中小企業ではトップセー

※HACCP/国連の国連食糧農業機関(FAO)と世界保健機構(WHO)の合同機関である食品規格(コーデックス)委員会から発表され、各国にその採用を推奨している食品の衛生管理方式



京都鰹節株式会社

代表取締役社長 志村雅之氏

Profile

- 本社/京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町7
 - 創業/1877(明治10)年
 - 法人設立/1949(昭和24)年
 - 資本金/2,500万円
 - 従業員数/85名
 - 事業内容/削り節の製造販売、食品材料全般(麺類・和食・ラーメン・中華)の卸売
- <http://www.kyoto-katsuo.co.jp/>



鰹節製造の最終工程になる花鰹梱包機



利尻昆布、羅臼昆布等、豊富な銘柄を取りそろえている昆布



鰹節・ウルメ節・サバ節等の削り節と良質の素材で配合された、だしパック

地域が変わる—— 地域活性化の現場

守山

◎守山市シルバー人材センター ▶ <http://www.sjc.ne.jp/moriyama/>

菜の花、アジサイ、ヒマワリ…。 花でにぎわいを呼ぶ新しい名所に シルバー人材センターの地道な努力が実を結んだ。

現役時代に磨いた技能を生かして、「社会のために働きたい」と望む高齢者に働く機会を提供するシルバー人材センター。その存在感は、人口構造の変化が進む社会の中で大きくなってきている。なかでも興味深い事例を守山で見つけた。冬には菜の花、夏にはヒマワリが敷地を埋め尽くす「第一なぎさ公園」と、世界のアジサイが咲き誇る「もりやま芦刈園」。花でにぎわいを招く2つの名所で、高齢者の力が果たす役割を見てみよう。

12,000本の菜の花景色は 守山の冬の風物詩だ

菜の花といえば春の風物詩だが、まだ冬の寒さが厳しい1月、守山市の北端の琵琶湖畔にある「第一なぎさ公園」の菜の花畑は満開を迎えている。こ



比良山を背景に、1月中旬から12,000本の菜の花が咲き誇る「第一なぎさ公園」

こには冬咲きの菜の花が12,000本も植えられていて、1月中旬から3月まで訪れる人を楽しませている。鮮やかな黄金色の花が約4,000平方メートルの敷地いっぱいに咲き競う情景は、守山が誇る新名所だ。天気の良い日には雪の残る比良山の姿が対岸に浮かび、一枚の

絵のような光景に目を奪われる。開花期には大勢の見物客が訪れ、周辺地域にはにぎわいに包まれる。遠方から訪れる写真愛好家も多く、守山の地名度向上にひと役買っている。

惜しみなく手間暇をかける人材が 第一なぎさ公園に花を咲かせる

第一なぎさ公園を市民の憩いの場にしたとの市の意向を受けて、1998年から毎年菜の花を植えているのは、公園を管理している「守山市シルバー人材センター」だ。この公園はもともと埋立地で土の保水力が弱く、石も雑草も多い土地で、苦勞も多かったという。事務局長の川那部恒男さんは管理を始めた当時のことをこのように振り返る。「土地を耕すのに邪魔になる石を一つひとつ手で拾い、サルビアやハボタン、パンジーなどさまざまな花の植栽に挑戦しましたが、うまくいくものはなかなか

見つかりませんでした。そんな中、ようやく見つけたのが菜の花の品種の一つであるカンザキハナナです」。

カンザキハナナは^{たなかみ}大津の田上で漬物などの食用に植えられていた品種で、冬でも咲き、見頃の期間が長い。この種を入手して一から育てた結果、第一なぎさ公園は全国から写真愛好家が集う名所となった。見頃を終えた菜の花はすべて引き起こし、5月になると今度はヒマワリの種をまく。7月中旬から8月下旬まで、色鮮やかな12,000本のヒマワリが咲き乱れる。菜の花もヒマワリも、シルバー人材センターの登録会員による入念な手入れがあつてこそ見事に開花するのだ。

アジサイの名所「芦刈園」では 指定管理者として工夫をこらす

滋賀県は全国的にみても、シルバー人材センターの活動が先進的な地域だ。県内すべての市・町にセンターがあり、高齢者の社会参加に熱心だといえる。なかでも守山市シルバー人材センターは、守山市からの委託事業比率が高く、地域社会の公益や活力と直結した事業を多く手掛けていることが強みだ。

「働き方の融通が利く高齢者が722

人も登録している当センターだからこその業務も多いですね。花壇や樹木の手入れ等を請け負う公園管理はその代表例。数多くの都市公園や河川公園の管理を行うなかで、花の植

栽や手入れのノウハウを蓄積してきました。そこを守山市に買われて、第一なぎさ公園で花を育てる事業を任されたのです。2007年にはもりやま芦刈園の指定管理者にも指定されました」。

西洋や日本のアジサイ、ヤマアジサイなど1万株のアジサイが約20,000平方メートルの敷地に所狭しと植えられた「もりやま芦刈園」。130種にのぼる品種の中には、他ではなかなか鑑賞できないものもあり、6月から7月には延べ2万人が訪れる。この集客数を維持することは想像以上に難しく、同センターでは日々模索を続けている。「年間を通じて丹念な手入れを行うことはもちろん、新しい品種が出るたびに株を植えて景色に変化をつけるなど、常に新たな感動を与える工夫に励んでいます。維持



さまざまな品種のアジサイが見られる「もりやま芦刈園」

するだけではリピーターをつかめませんからね」。

高齢者の社会参加と まちづくりを両立させる

6月中旬に開催する「あじさいフェア」も、来園客の満足度を高め、翌年も再訪してもらうための工夫の一つだ。同センターは、アジサイの鉢植え販売に加え、アジサイの絵手紙などの教室を開いている。観光物産協会や農業団体なども、地元の製品の販売でイベントに協力。これらの努力の賜物か、芦刈園の人気は年を追うごとに高まり、市外からの来園客も増え続けているという。

にぎわいを地域にもたらす集客資源。その維持に必要な日々の取り組みは、行政や民間組織の力だけでは担いきれない。その隙間をシルバー人材センターが埋め、応分の報酬と生きがいを得る。高齢者の社会参加と“まちづくり”を両立させた第一なぎさ公園と芦刈園の事例から学べることは多い。

広大な土地を耕し、種をまいて雑草を除き、害虫を駆除する。シルバー人材センターが手間を惜しまず長期にわたって注いだ丹精が実を結び、今年も第一なぎさ公園に菜の花が咲く季節がめぐってくる。



菜の花の後に種をまき、7月中旬から8月下旬にかけてヒマワリが満開を迎える

香港における日本料理店の現状について

texted by 滋賀銀行 香港支店 富田達也

昨年12月、「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されることが決定した。「食の都」と評され、世界各国の料理・食材が集まる香港でも日本食の人気は高い。香港にはすでに約1,000軒もの日本料理店があるが、その数はまだまだ増えそうな勢いだ。香港の日本料理店を取り巻く現状についてレポートする。

企業拠点数で日本が米国抜きトップに

香港政府の企業誘致担当部署は、香港で営業する日本企業の香港拠点数が昨年6月初めの時点で1,389拠点（前年同期比14%増）となり、米国を抜いて国・地域別で首位になったと発表した。なかでも、特に運輸、食品、飲食の業種が増加しているとのことだ。

昨年7月から香港支店に赴任した私も、香港には日本料理店が多いと感じている。着実に店舗数は増加している一方で、数々の問題点も存在する。その問題点について考えてみたい。

高額な店舗家賃

米系不動産仲介大手CBREの2013年第2四半期の調査によると、香港の店舗賃料は1スクエアフィート（約0.09平方メートル）あたり年間4,328米ドル（約42.4万円）と、世界で最も高額である。7位の東京（864米ドル＝約8.9万円）と比較すると、香港の店舗賃料は東京の5倍となっている。

また、香港では2年ごとの賃貸契約が一般的であり、更新時の交渉で値上げを通告されることも多い。香港に店舗を構える飲食店にとって賃料負担によるコスト増加は大きな障害となっている。

賃金上昇や離職による人手不足

飲食業界の人手不足も深刻な問題だ。香港では、2011年5月に法定最低賃金制度（法定最低賃金 時給28香港ドル＝約380円）が導入され、2013年5月に30香港ドルに引き上げされるなど、賃金が増え、日本人は必要ないのではないかと香港政府入境事務局の見方もあり、特に飲食業界はビザが取りにくくなっている。

就労ビザの審査で厳格化されているポイントは、申請者の学歴と職歴のバランスだ。従来は「4年制大学卒業以上であれば職歴5年以上、高校・専門学校卒であれば同10年以上が必要」との実質的な審査基準はあったが、現実には3年程度の業務経験があれば許可を得られていた。この経験年数に関する審査が基準通りに行われていることが、ビザ取得のハードルを高くしている。



香港で人気が高いサーモンの寿司

就労ビザの厳格化

日本料理店では味の品質を保つために日本人の料理人が必要となるが、就労ビザの審査が厳しくなっている。香港内の日本料理店の増加により香港人の料理人が増え、日本人は必要ないのではないかと香港政府入境事務局の見方もあり、特に飲食業界はビザが取りにくくなっている。

就労ビザの審査で厳格化されているポイントは、申請者の学歴と職歴のバランスだ。従来は「4年制大学卒業以上であれば職歴5年以上、高校・専門学校卒であれば同10年以上が必要」との実質的な審査基準はあったが、現実には3年程度の業務経験があれば許可を得られていた。この経験年数に関する審査が基準通りに行われていることが、ビザ取得のハードルを高くしている。

課題はあるものの魅力は変わらない

これまで述べてきたように、店舗家賃や雇用面で日本とは異なる問題点が存在する。ただ、コスト増加という不安材料がある一方で、一杯80～100香港ドル（約1,100～1,370円）と、決して安いとはいえないラーメン店

に長蛇の列ができているのを見ても、コストに応じた適正な価格設定は可能だ。

香港は外食率が高いことに加えて、年間3,000万人を超える中国からの観光客が訪れることから、市場の魅力は十分にある。また、香港と中国・広東省の食の嗜好は似ていることから、香港での成功が広東省進出に繋がっているケースも増加している。広東省だけで人口が1億人を超えていることを考えても、リスクを十分踏まえた上で、中国本土へのゲートウェイとして香港市場を捉え、チャレンジすることは一考の価値があるのではないかと感じている。

| | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 12-13年増減 |
|----|-------|-------|-------|----------|
| 日本 | 1,150 | 1,218 | 1,389 | +171 |
| 米国 | 1,328 | 1,388 | 1,339 | ▲49 |
| 中国 | 805 | 853 | 901 | +48 |
| 英国 | 562 | 565 | 586 | +21 |
| 台湾 | 446 | 450 | 448 | ▲2 |

資料:香港政府統計処

| | 1 sqft(※)あたりの年間賃料 |
|--------|-------------------|
| 香港 | 4,328 |
| ニューヨーク | 3,050 |
| パリ | 1,220 |
| ロンドン | 1,156 |
| シドニー | 945 |
| 東京 | 864 |

資料:CBRA Research Q2 2013
※1 sqft(スクエアフィート)＝約0.09平方メートル

※為替レートは2013年12月18日現在のものです

「香港支店設立20周年記念 お取引先さまの集い」を開催

当行は昨年12月6日、アイランド シャングリラ 香港で「香港支店設立20周年記念 お取引先さまの集い」を開催しました。香港・華南地区だけでなく日本からも合わせて61社80名のご参加をいただき、会場は熱気溢れる情報交換の場となりました。

大道頭取の挨拶の後、草津電機株式会社 代表取締役社長 北村嘉英様より、同社の海外進出の経緯や今後の海外戦略、1986年からシンガポールで初代駐在員として陣頭指揮をとられた際の貴重な経験などをお話しいただくとともに、当行の海外業務支援や今後のアジアビジネスサポートへの期待について温かい励ましの言葉を頂戴しました。

また今回、香港で流通する滋賀の食材をPRするため、お取引先さまのご好意で提供いただいた滋賀・湖北の地酒で乾杯を行いました。近江牛を使用した中華料理もたいへん好評いただき、お土産でも香港で購入できる「滋賀の食材」にこだわって、地酒、鮎の佃煮、滋賀県産の豆を使用した甘納豆をご用意。滋賀の食材の質の高さ、おいしさをアピールしました。会場入口では滋賀県産食材のパフレット等を設置し、併せて当行の環境やニュービジネスに関する取り組みについてもパネル展示で紹介しました。

なお、前日の12月5日には、上海花園飯店で「上海駐在員事務所設立10周年記念 お取引先さまの集い」を開催し、137名のご参加をいただきました。

当行は昨年9月、近畿の地方銀行では初となる香港貿易発展局との業務提携を行い、より一層充実したサポートに取り組んでおります。今後も、近畿地銀で唯一の海外支店である香港支店、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所の海外3拠点と、本部アジアデスクを結ぶネットワークで、お取引先のアジアビジネスをお手伝いしてまいります。

(しがんアジア月報12月号より 香港支店 山岡)



有名な観光スポットのコースウェイベイ。日本料理店も多い



行列ができる香港で人気の日系ラーメン店



県内景気の動向

現状 県内製造業の生産活動の現状を鉱工業生産指数で見ると、電気機械や精密機械、窯業・土石などは高水準が続いているものの、一般機械や輸送機械、化学などが大幅の低下となったため、原指数、季節調整済指数ともにマイナスとなった。

需要面では、大型店売上高は飲食料品が引き続き堅調に推移しているものの、衣料品や家電機器などが前年を大きく下回ったため、全店ベース、既存店ベースともに2か月ぶりのマイナスとなった。一方、乗用車新車登録台数は消費税率引き上げ前の駆け込み需要が出はじめ前月に続き大幅のプラス、軽乗用車も3か月連続のプラスとなっている。民間非居住用建築着工床面積でみた民間設備投資は3業用とも高水準で推移したため、3業用計では5か月ぶりのプラスとなった。新設住宅着工戸数は駆け込み需要が根強く、前月に続き大幅のプラス、さらに、公共工事も請負件数と金額が4か月連続でともに大幅のプラスとなり堅調に推移している。

このような状況下、雇用情勢を見ると、新規求人数が前月に続きすべての業種で前年を上回り13か月連続かつ大幅のプラスとなっていることなどから、新規求人倍率は前月比大幅上昇の高水準が続き、有効求人倍率も前月比上昇し、改善傾向がみられる。

昨年11月に実施した県内企業動向調査によると(P.18の《ズームアップ》をご参照)、自社の業況判断DIは前回(13年7-9月期)の-11から大幅な改善(12ポイント上昇)の+1となり、4四半期連続で上昇かつ7年ぶりにプラスに

転じた。公共工事の増加や、消費税率の引き上げを見越した駆け込み需要の発生などにより売上が増加し、とくに製造業を中心に、全業種で景況感は大幅に改善した。

これらの状況をまとめると、県内景気の現状は、製造業の生産活動で在庫調整による一服感がみられるものの、需要面のほとんどで回復に向けた前向きな動きがみられるため、全体的に緩やかに回復していると考えられる。

今後の動向 県内製造業の生産活動は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に伴う増産の動きが引き続きみられる業種や企業と、引き上げ後の需要減を見込んで生産調整の動きがでてくる業種や企業が混在し、全体としては、緩やかな回復傾向が続くものと考えられる。

需要面では、個人消費については、家計所得の伸び悩みや値上げ、光熱費上昇といった懸念材料はあるが、耐久消費財をはじめ、嗜好品などの選択的商品、食料品や生活用品などの必需品など、さまざまな商品、サービスに上記の駆け込み需要による前倒しの動きが出てくるため、全体的に現状よりは回復感がみられるようになると思われる。一方、民間設備や住宅着工などの投資関連では、上記の駆け込み需要は徐々に減退していくとみられる。

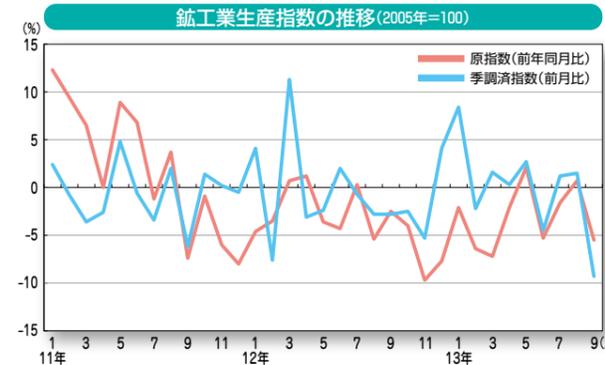
したがって、今後の県内景気は、生産活動面では緩やかな回復傾向が続き、需要面では個人消費で好調な動きはみられようが、他の需要項目が総じて減退の方向に向かうため、全体的には緩やかな回復傾向の中で、弱含みの足踏み状態にとどまると思われる。

「鉱工業生産指数」は原指数、季節調整済指数ともにマイナス

2013年9月の県内製造業の生産状況は、鉱工業生産指数(2005年=100)の「原指数」が96.3、前年同月比-5.5%と、再び前年を下回り、「季節調整済指数」は91.3、前月比-9.3%で、3か月ぶりのマイナスとなり、一服感がみられる。この結果、鉱工業全体の季節調整済指数の3か月移動平均値(8月)は97.1、前月比-2.2%で、4か月連続のマイナスとなっている。

業種別(中分類)に季節調整済指数の水準をみると、「電気機械」や「精密機械」「窯業・土石」などは高水準が続いているが、「鉄鋼」や「一般機械」「輸送機械」「繊維」「その他」などが低い。また、前月と比べると、「金属製品」や「精密機械」「プラスチック」などはプラスとなったが、「一般機械」や「輸送機械」「化学」などは大幅の低下となった。

鉱工業の「出荷指数」と「在庫指数(製品在庫)」を前年比で見ると、出荷は16か月連続で前年を下回っているものの(原指数90.1、前年同月比-8.7%)、在庫は11か月ぶりのプラスとなったため(同96.6、同+1.3%)、在庫循環図では「意図せざる在庫増加局面」に移行した。今後の動向が注目される。



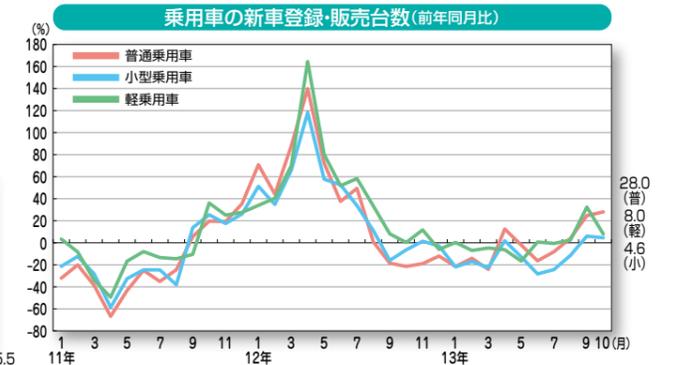
「乗用車新車登録台数」は、前月に続き大幅のプラス

2013年10月の「消費者物価指数(生鮮食品を除く総合/大津市/2010年=100)」は100.2、前年同月比+0.9%、前月比+0.2%となり、前年比で6か月連続かつ大幅のプラス、前月比でもプラスとなった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合(いわゆる「コアコア指数」)で見ると、前年同月比+0.4%、前月比+0.4%で、ともにプラスとなった。今後の動向が注目される。「可処分所得(同)」は3か月ぶりに前年を上回ったが(前年同月比+2.3%)、「家計消費支出(同)」は2か月ぶりのマイナスとなった(同-2.7%)。なお、「毎月勤労統計調査」における9月の「名目現金給与総額(事業所規模30人以上、2010年=100)」は80.5、同-0.9%で、5か月ぶりのマイナスとなった。

このような所得・消費環境のなか、10月の「大型店売上高(全店ベース=店舗調整前、対象店舗数は96店舗)」は前年同

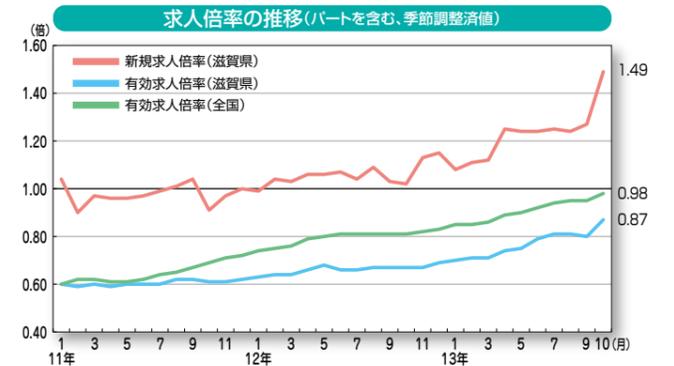
月比-1.1%で2か月ぶりに前年を下回った。品目別で見ると、「飲食料品」は5か月連続のプラス(同+2.1%)となっているものの、「衣料品」(同-12.8%)と「家電機器」(同-11.8%)はともに4か月連続かつ大幅のマイナス、「身の回り品」(同-10.8%)と「家庭用品」(同-3.2%)も再び前年を下回った。また、「既存店ベース(=店舗調整後)」の売上高も「飲食料品」(同+0.3%)が前年を上回ったものの、「家電機器」(同-14.1%)と「衣料品」(同-12.9%)が大幅のマイナスとなったため、全体では2か月ぶりのマイナスとなった(同-2.5%)。

10月の「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」は、「普通乗用車(3ナンバー車)」が3か月連続かつ大幅のプラスとなったのに加え(1,508台、前年同月比+28.0%)、「小型乗用車(5ナンバー車)」も前月に続きプラスとなったため(1,461台、同+4.6%)、2車種合計では2か月連続の大幅プラスとなった(2,969台、同+15.3%)。消費税率引き上げ前の駆け込み需要が出はじめられているものとみられる。また、「軽乗用車」も3か月連続のプラスとなっている(1,784台、同+8.0%)。



「新規求人倍率」は、前月比大幅上昇

2013年10月の「新規求人数(パートを含む)」は9,421人(前年同月比+21.8%)で、13か月連続かつ大幅のプラスとなり、一方、「新規求職者数(同)」は6,627人(同-18.3%)と3か月連続のマイナスとなっている。この結果、「新規求人倍率(パートを含む、季節調整済値)」は前月比大幅上昇(+0.22ポイント)の1.49倍となり、「有効求人倍率(同)」は同+0.07ポイントの0.87倍となった。



ZOOM UP

県内企業動向調査
2013年10-12月期の実績見込みと
14年1-3月期の見通し

景況感は、 製造業を中心に 大幅に改善

Text by しがぎん経済文化センター 上村 彰吾

今回の調査によると、現在(13年10-12月期)の業況判断DIは前回(13年7-9月期)の-11から大幅な改善となる12ポイント上昇の+1で、4四半期連続の上昇となった。02年2月から73か月間続いた戦後最大の景気拡大期の最中にあった06年10-12月期以来、7年ぶりにプラスに転じた。公共工事の増加や、消費税率の引き上げを見越した駆け込み需要の発生などにより売り上げが増加し、特に製造業を中心に、全業種で景況感は大幅に改善したとみられる。

調査の概要

- 調査名:「県内企業動向調査」 ●調査時期:2013年11月13日~11月27日
- 調査対象先:994社
- 有効回答数:451社(有効回答率45%)
 - うち製造業: 203社(有効回答数の構成比 45%)
 - うち建設業: 74社(有効回答数の構成比 16%)
 - うち非製造業:174社(有効回答数の構成比 39%)

自社の業況判断DI… 全体で7年ぶりのプラス

①全体の動向(図1)

現在(13年10-12月期)の業況判断DIは前回(13年7-9月期)の-11から大幅な改善となる12ポイント上昇の+1で、4四半期連続の上昇となり、7年ぶりにプラスに転じた。公共工事の増加や、消費税率の引き上げを見越した駆け込み需要の発生などにより売上が増加し、経常利益も大幅に上昇したことから、特に製造業を中心に、全業種で景況感は大幅に改善したとみられる。

3か月後は、2ポイント上昇の+3と、引き続き上昇する見通しである。

②業種別の動向

業種別でみると、**製造業**は+16ポイント(-18→-2)、**建設業**は+8ポイント(+15→+23)、**非製造業**は+9ポイント(-13→-4)と、全業種で前回より大幅に上昇した。

製造業では**輸送用機械**など全15業種のうち11業種で上昇したが、**化学**など3業種で下落した。**非製造業**では**卸売、運輸・通信**など全8業種のうち5業種で上昇したが、すでに駆け込み需要のピークを越えたという意見のあった**不動産**など2業種で下落した。

3か月後は、**製造業**では引き続き消費増税前の駆け込み需要が見込まれる一方で、原材料費や光熱費の高騰による仕入

価格の上昇も懸念されてか、-1ポイントの-3となった。**建設業**は1ポイント上昇の+24、**非製造業**も6ポイント上昇の+2とプラスに転じる見通しである。

経常利益DI… 大幅に上昇し、プラスに転じる

①全体の動向(図2)

現在の経常利益DI(「増加」と回答した企業の割合を引いた値)は、前回(7-9月期)の-13から+14ポイントの+1と、6年半ぶりにプラスに転じた。消費増税前の駆け込み需要などで売上が増加し、販売価格も上昇したことに加え、仕入価格も高い水準ではあるものの下落に転じたことが、経常利益の改善につながったものとみられる。

3か月後は-2ポイント(+1→-1)となり、再び下落に転じる見通しである。

②業種別の動向

業種別にみると、**製造業**は+18ポイント(-19→-1)、**建設業**は+14ポイント(+3→+17)、**非製造業**も+8ポイント(-11→-3)と全業種で大幅に上昇した。

製造業では、**金属製品、電気機械、窯業・土石**など11業種で上昇したが、**一般機械、精密機械**など4業種で下落した。**非製造業**では**卸売、運輸・通信**など4業種で上昇したが、**不動産、小売**など3業種で下落した。

3か月後は、**建設業**は-6ポイント(+17→+11)の下落となるも引き続きプラスを

維持、**非製造業**は+4ポイント(-3→+1)の上昇でプラスに転じるが、**製造業**は-6ポイント(-1→-7)の下落となり、再びマイナスとなる見通しである。

仕入価格DI… 4四半期ぶりに下落に転じるも、 依然高い水準

①全体の動向(図3)

仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合を引いた値)は+34で、前回(7-9月期)の+36から-2ポイントと、4四半期ぶりに下落に転じたものの、引き続き高い水準となった。円安による原材料費や燃料費の高騰、電気料金の値上げの影響が依然続いているものとみられる。

3か月後は+1ポイント(+34→+35)で再び上昇に転じる見通しである。

②業種別の動向

業種別にみると、**建設業**では+5ポイント(+35→+40)の上昇となったが、**製造業**で-3ポイント(+37→+34)、**非製造業**で-2ポイント(+35→+33)と、それぞれ下落に転じた。

製造業では**金属製品、窯業・土石、食料品**など7業種で上昇したが、**一般機械、電気機械、繊維**など6業種で下落した。**非製造業**では**小売、電気・ガス、その他の非製造業**の3業種で上昇したが、**不動産、卸売、運輸・通信**など4業種で下落した。

3か月後は、**建設業**は+5ポイント(+40→+45)とさらに上昇、**製造業**(+34→+34)、**非製造業**(+33→+33)も横ばいで、依然高い水準が続く見通しである。

販売価格DI… 上昇に転じるも、 依然マイナス水準

①全体の動向(図4)

販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合を引いた値)は-3で、前回(7-9月期)の-8から+5ポイントと、2四半期ぶりに上昇に転じたものの、依然マイナス水準にとどまっている。仕入価格が上昇する一方で、価格競争の激化により販売価格の引き上げは引き続き難しい状況にあるとみられる。

3か月後は+2ポイント(-3→-1)となり、引き続き上昇する見通しである。

②業種別の動向

業種別にみると、**製造業**で+6ポイント(-12→-6)、**建設業**で+5ポイント(-8→-3)、**非製造業**でも+3ポイント(-3→0)と全業種で上昇した。**製造業**では、**繊維、木材・木製品、食料品**など9業種で上昇したが、**一般機械、化学、紙・パルプ**で下落した。

3か月後は、**製造業**は-2ポイント(-6→-8)と下落に転じるが、**建設業**は+4ポイント(-3→+1)、**非製造業**は+6ポイント(0→+6)と、引き続き上昇する見通しである。

図1 自社の業況判断DIの推移

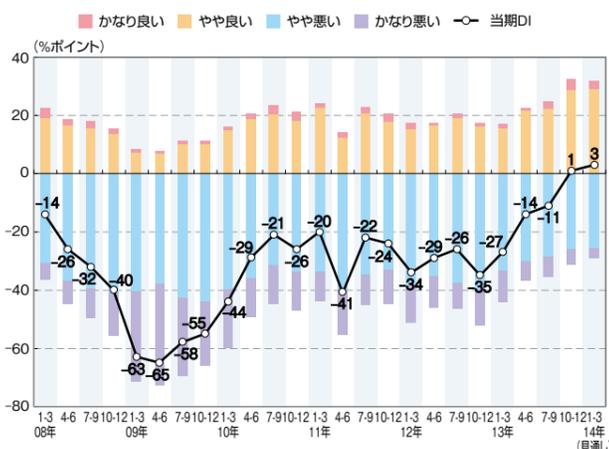


図2 経常利益DIの推移

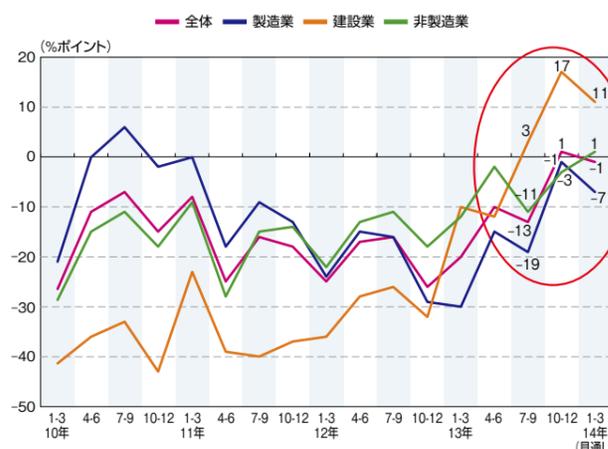


図3 仕入価格DIの推移

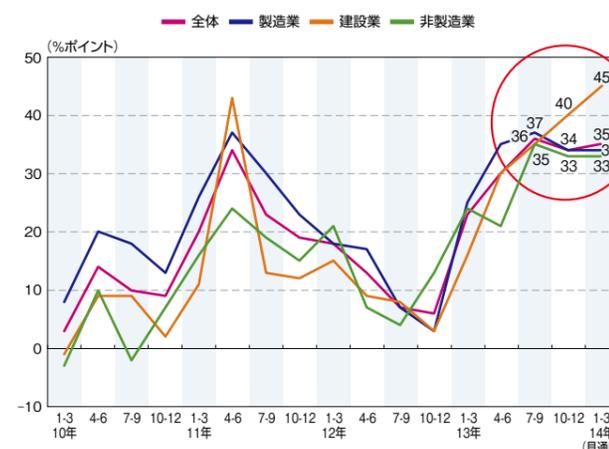
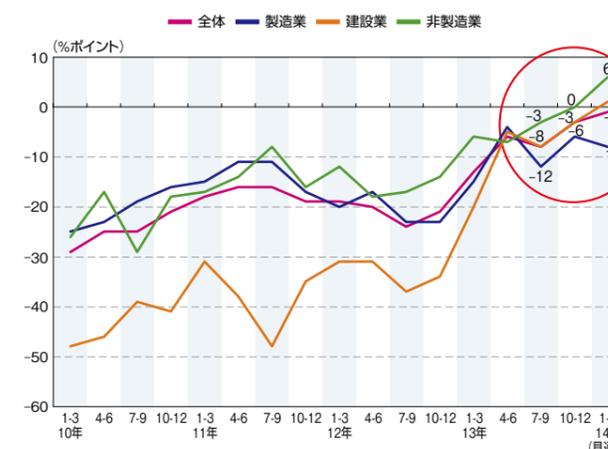


図4 販売価格DIの推移



◆ 滋賀県 ◆

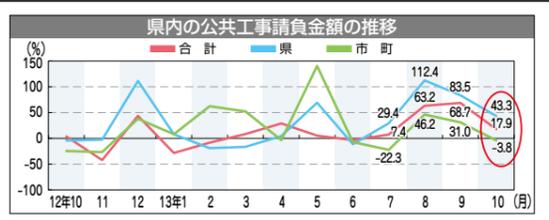
| 項目 年月 | 鉱工業指数(2005年=100) | | | | | | | 消費者物価指数 (大津市、2010年=100) (生鮮食品を除く総合) | | | 大津市勤労者世帯(農林漁家世帯を含む) | | | 大型小売店販売額 | | | |
|-----------|------------------|-------|-------|--------|-------|------|-------|---|-------|----------|---------------------|----------|--------|----------|-------|-------|-------|
| | 生産 | | | 出荷 | | | | 指数 | 前月比 | 前年比 | 可処分所得 | | 家計消費支出 | | 店舗調整前 | 店舗調整後 | |
| | 季調済指数 | 前月比 | 前年比 | 前月比 | 前年比 | 前月比 | 前年比 | | | | 円 | 前年比 | 円 | 前年比 | 円 | 前年比 | 前年比 |
| 2010年度(年) | ※101.3 | - | ※14.7 | - | ※12.7 | - | ※10.0 | - | ※11.5 | ※382,263 | ※2.5 | ※295,747 | ※18.3 | ※2.2 | ※3.4 | ※2.2 | ※3.4 |
| 2011年度(年) | ※103.0 | - | ※1.7 | - | ※0.4 | - | ※99.3 | - | ※0.7 | ※329,558 | ※13.8 | ※279,021 | ※5.7 | ※0.3 | ※1.4 | ※0.3 | ※1.4 |
| 2012年度(年) | ※99.3 | - | ※3.6 | - | ※2.0 | - | ※99.2 | - | ※0.1 | ※347,541 | ※5.5 | ※264,306 | ※5.3 | ※1.1 | ※1.3 | ※1.1 | ※1.3 |
| 2012. 10 | 93.8 | ▲2.5 | ▲4.0 | ▲3.2 | ▲4.8 | ▲0.8 | 99.3 | ▲0.1 | ▲0.1 | 300,294 | 0.1 | 288,444 | 28.1 | ▲1.1 | ▲1.5 | ▲1.1 | ▲1.5 |
| 11 | 88.8 | ▲5.3 | ▲9.7 | ▲4.2 | ▲9.6 | ▲0.6 | 99.2 | ▲0.1 | 0.0 | 291,823 | 6.4 | 258,261 | 11.6 | 0.7 | 0.1 | 0.7 | 0.1 |
| 12 | 92.4 | 4.1 | ▲7.7 | 5.4 | ▲8.9 | ▲4.0 | 98.9 | ▲0.3 | 0.0 | 566,737 | ▲2.5 | 303,251 | ▲12.9 | 1.3 | 0.6 | 1.3 | 0.6 |
| 2013. 1 | 100.2 | 8.4 | ▲2.1 | 5.5 | ▲7.1 | ▲3.3 | 98.6 | ▲0.2 | ▲0.2 | 271,188 | ▲3.0 | 319,898 | 28.8 | ▲3.0 | ▲3.9 | ▲3.0 | ▲3.9 |
| 2 | 98.0 | ▲2.2 | ▲6.4 | ▲2.1 | ▲8.8 | ▲1.5 | 98.7 | 0.0 | ▲0.4 | 288,151 | ▲10.9 | 261,290 | 14.9 | ▲3.4 | ▲3.9 | ▲3.4 | ▲3.9 |
| 3 | 99.6 | 1.6 | ▲7.2 | 2.3 | ▲8.2 | 1.9 | 98.8 | 0.1 | ▲0.4 | 277,311 | ▲4.9 | 296,606 | 5.5 | ▲0.2 | ▲0.7 | ▲0.2 | ▲0.7 |
| 4 | 99.9 | 0.3 | ▲2.1 | 0.1 | ▲5.6 | 1.4 | 99.0 | 0.2 | ▲0.7 | 342,382 | 26.3 | 335,473 | 15.8 | ▲0.5 | ▲1.3 | ▲0.5 | ▲1.3 |
| 5 | 102.6 | 2.7 | 2.1 | 0.9 | ▲2.9 | 4.5 | 99.6 | 0.5 | 0.1 | 276,206 | 17.9 | 289,239 | 13.3 | ▲1.3 | ▲2.7 | ▲1.3 | ▲2.7 |
| 6 | 98.0 | ▲4.5 | ▲5.3 | ▲1.7 | ▲6.8 | 3.0 | 99.6 | 0.0 | 0.4 | 419,547 | ▲22.9 | 281,302 | 22.6 | 2.4 | 1.2 | 2.4 | 1.2 |
| 7 | 99.2 | 1.2 | ▲1.6 | 1.3 | ▲0.6 | ▲2.0 | 99.7 | 0.1 | 0.6 | 478,131 | 14.0 | 323,167 | 18.3 | ▲1.2 | ▲2.3 | ▲1.2 | ▲2.3 |
| 8 | 100.7 | 1.5 | 0.7 | ▲3.1 | ▲5.0 | 0.6 | 100.0 | 0.3 | 0.8 | 319,249 | ▲6.0 | 241,047 | ▲4.2 | ▲0.7 | ▲1.4 | ▲0.7 | ▲1.4 |
| 9 | P91.3 | P▲9.3 | P▲5.5 | P▲10.2 | P▲8.7 | P2.3 | 100.0 | 0.0 | 0.5 | 287,579 | ▲6.9 | 267,035 | 0.5 | 1.0 | 0.2 | 1.0 | 0.2 |
| 10 | | | | | | | 100.2 | 0.2 | 0.9 | 307,180 | 2.3 | 280,607 | ▲2.7 | P▲1.1 | P▲2.5 | P▲1.1 | P▲2.5 |

| 項目 年月 | 乗用車新車登録台数 (軽を除く) (登録ナンバー別) | | 民間非居住用 建築物床面積 (3業用計)(注)③ | | 新設住宅着工 | | | | | 公共工事請負金額 | | 求人倍率 (含パート、季調済) | | 雇用保険 受給者数(人) | |
|-----------|----------------------------------|-------|--------------------------------|-------|--------|-------|------|-------|-------|----------|-------|--------------------|------|-----------------|-------|
| | 台 | 前年比 | m | 前年比 | 戸 | 前年比 | 持家 | 貸家 | 分譲 | 百万円 | 前年比 | 新規 | 有効 | 人 | 前年比 |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2010年度(年) | ※37,306 | ※10.0 | ※407,340 | ※24.9 | ※9,688 | ※0.8 | ※7.0 | ※24.4 | ※58.0 | 94,252 | ▲9.6 | 0.94 | 0.54 | 7,602 | ▲34.3 |
| 2011年度(年) | ※30,368 | ※18.6 | ※486,440 | ※19.4 | ※8,726 | ※9.9 | ※3.1 | ※17.9 | ※11.6 | 97,226 | 3.2 | 0.99 | 0.62 | 6,975 | ▲8.2 |
| 2012年度(年) | ※38,450 | ※26.6 | ※544,001 | ※11.8 | ※9,271 | ※6.2 | ※0.7 | ※7.5 | ※19.5 | 94,176 | ▲3.1 | 1.08 | 0.68 | 7,395 | 6.0 |
| 2012. 10 | 2,575 | ▲13.9 | 31,028 | ▲10.8 | 798 | ▲5.8 | 11.9 | 59.0 | ▲63.3 | 8,659 | 3.7 | 1.02 | 0.67 | 7,490 | 7.7 |
| 11 | 2,640 | ▲9.7 | 30,224 | ▲13.3 | 871 | 18.3 | 23.0 | 9.5 | 20.2 | 6,133 | ▲42.1 | 1.13 | 0.67 | 7,600 | 11.7 |
| 12 | 2,340 | ▲7.7 | 54,899 | ▲38.2 | 806 | ▲1.3 | 5.2 | ▲9.3 | ▲4.9 | 6,373 | 43.6 | 1.15 | 0.69 | 7,269 | 13.0 |
| 2013. 1 | 2,373 | ▲21.7 | 46,496 | 73.2 | 710 | ▲18.4 | 10.2 | ▲42.7 | ▲31.0 | 4,229 | ▲28.3 | 1.08 | 0.70 | 7,580 | 13.6 |
| 2 | 3,279 | ▲15.4 | 31,491 | 55.5 | 875 | 42.3 | 12.5 | 135.5 | 22.4 | 4,099 | ▲8.3 | 1.11 | 0.71 | 7,082 | 7.5 |
| 3 | 4,526 | ▲23.4 | 26,682 | ▲37.0 | 861 | 46.9 | 4.6 | 97.3 | 150.6 | 7,159 | 8.4 | 1.12 | 0.71 | 6,827 | 6.8 |
| 4 | 2,685 | 7.0 | 61,223 | 16.0 | 927 | 23.6 | 22.3 | 23.9 | 21.7 | 13,926 | 28.9 | 1.25 | 0.74 | 7,179 | 10.8 |
| 5 | 2,401 | ▲7.4 | 44,870 | 53.9 | 738 | 1.1 | 17.8 | ▲20.6 | ▲14.7 | 12,819 | 5.3 | 1.24 | 0.75 | 7,652 | ▲4.6 |
| 6 | 2,826 | ▲22.5 | 33,530 | ▲48.0 | 667 | ▲18.8 | ▲9.1 | ▲37.9 | 23.8 | 7,116 | ▲3.4 | 1.24 | 0.79 | 7,313 | ▲2.7 |
| 7 | 3,182 | ▲16.4 | 58,638 | ▲9.5 | 870 | 39.6 | 24.8 | 182.8 | ▲10.2 | 12,549 | 7.4 | 1.25 | 0.81 | 7,685 | ▲2.9 |
| 8 | 2,455 | ▲3.9 | 34,501 | ▲24.4 | 941 | ▲3.5 | 3.7 | ▲27.4 | ▲0.9 | 11,194 | 63.2 | 1.24 | 0.81 | 7,097 | ▲8.4 |
| 9 | 3,418 | 15.2 | 62,189 | ▲23.7 | 1,377 | 66.7 | 18.1 | 61.9 | 198.9 | 14,577 | 68.7 | 1.27 | 0.80 | 6,761 | ▲6.2 |
| 10 | 2,969 | 15.3 | 39,447 | 27.1 | 947 | 18.7 | 24.9 | ▲14.1 | 60.6 | 10,205 | 17.9 | 1.49 | 0.87 | 6,883 | ▲8.1 |

| 項目 年月 | 常用雇用指数 (全産業) (2010年=100) | | 所定外労働時間 指数(製造業) (2010年=100) | | 常用労働者の 賃金指数(名目) (2010年=100) | | 企業倒産 | | 手形交換高 | | 不渡手形発生高 | | 銀行取引 停止処分 | 業況判断DI | | |
|-----------|--------------------------------|-------|-----------------------------------|-------|-----------------------------------|-------|------|---------|-------|--------|---------|------|--------------|--------|-----|---------------|
| | 指数 | 前年比 | 指数 | 前年比 | 指数 | 前年比 | 件 | 百万円 | 千枚 | 億円 | 前年比 | 枚 | 百万円 | 前年比 | 件 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2010年度(年) | ※100.0 | ※▲0.6 | ※100.0 | ※37.7 | ※100.0 | ※1.3 | ※147 | ※36,700 | ※443 | ※5,998 | ※▲15.2 | ※694 | ※1,355 | ※▲15.8 | ※25 | - |
| 2011年度(年) | ※101.3 | ※1.3 | ※106.7 | ※6.7 | ※100.8 | ※0.8 | ※118 | ※17,843 | ※408 | ※5,631 | ※▲6.1 | ※439 | ※692 | ※▲48.9 | ※26 | - |
| 2012年度(年) | ※100.6 | ※▲0.7 | ※110.3 | ※3.4 | ※98.7 | ※▲2.1 | ※107 | ※55,530 | ※380 | ※5,149 | ※▲8.6 | ※306 | ※303 | ※▲56.2 | ※17 | - |
| 2012. 10 | 100.7 | ▲0.8 | 108.1 | ▲1.3 | 81.5 | ▲1.9 | 13 | 5,131 | 35 | 481 | 20.8 | 76 | 71 | 552.0 | 3 | (10-12月期) ▲35 |
| 11 | 100.5 | ▲1.3 | 113.1 | 8.2 | 85.2 | 1.8 | 8 | 2,435 | 29 | 397 | ▲0.3 | 23 | 14 | ▲37.6 | 2 | |
| 12 | 99.1 | ▲2.0 | 112.5 | 0.3 | 176.8 | ▲9.2 | 7 | 232 | 27 | 339 | ▲12.5 | 12 | 4 | ▲84.2 | 0 | |
| 2013. 1 | 100.0 | ▲0.2 | 95.6 | 0.6 | 85.7 | 0.1 | 9 | 1,335 | 34 | 461 | ▲0.9 | 15 | 5 | ▲78.6 | 1 | (1-3月期) ▲27 |
| 2 | 101.4 | 1.3 | 108.1 | ▲5.5 | 80.5 | ▲1.5 | 4 | 238 | 29 | 400 | ▲3.1 | 31 | 23 | ▲19.9 | 1 | |
| 3 | 100.7 | 0.8 | 111.3 | ▲4.3 | 87.3 | 0.0 | 5 | 202 | 26 | 342 | ▲3.6 | 14 | 14 | ▲31.2 | 3 | |
| 4 | 101.8 | 0.7 | 115.6 | 2.2 | 82.8 | ▲0.6 | 7 | 2,750 | 35 | 491 | 16.2 | 49 | 69 | 22.7 | 2 | |
| 5 | 101.7 | 0.5 | 110.6 | 2.9 | 82.4 | 0.2 | 7 | 2,152 | 31 | 407 | ▲27.3 | 23 | 55 | 73.8 | 1 | (4-6月期) ▲14 |
| 6 | 101.3 | 0.3 | 115.6 | 3.3 | 147.0 | 1.3 | 6 | 716 | 24 | 351 | ▲19.5 | 17 | 22 | 176.1 | 0 | |
| 7 | 101.4 | 0.1 | 118.8 | 3.8 | 116.7 | 4.2 | 9 | 604 | 36 | 480 | ▲7.2 | 26 | 66 | 232.1 | 1 | |
| 8 | 101.1 | 0.0 | 112.5 | 2.3 | 82.8 | 0.5 | 5 | 178 | 25 | 336 | ▲23.7 | 19 | 29 | 196.3 | 1 | (7-9月期) ▲11 |
| 9 | 100.9 | 0.0 | 111.3 | 3.5 | 80.5 | ▲0.9 | 8 | 521 | 32 | 444 | 37.6 | 54 | 22 | 28.5 | 3 | |
| 10 | | | | | | | 7 | 734 | 29 | 376 | ▲21.8 | 41 | 57 | ▲19.3 | 1 | |
| 11 | | | | | | | 13 | 2,093 | 24 | 302 | ▲24.0 | 4 | 3 | ▲80.7 | 0 | (10-12月期) 1 |

◆ 滋賀県 ◆
今月の注目データ(滋賀県) 公共工事の請負金額は高水準を維持

西日本建設業保証(株)の前受金保証による滋賀県の昨年10月の公共工事請負金額は、4ヵ月連続で前年を大幅に上回っている。うち県の発注による請負金額は約37億円で、4ヵ月連続の前年比プラスとなった。県や市町発注の公共工事の増加は、県内建設業者への発注増につながり、関連業者の企業収益や雇用者所得の増加などから、県内景気全体の回復につながると考えられる。今後もその動向に注目したい。(植原)



◆ 全国 ◆

(2013.12.18現在)

| 項目 年月 | 鉱工業指数(2010年=100) | | | | | | | 消費者物価指数 (2010年=100) (生鮮食品を除く総合) | | | 全国勤労者世帯(農林漁家世帯を含む) | | | 大型小売店販売額 | | |
|-----------|------------------|------|-------|------|-------|------|------|---------------------------------------|------|---------|--------------------|---------|----------|----------|-------|-------|
| | 生産 | | | 出荷 | | | | 指数 | 前月比 | 前年比 | 可処分所得 | | 家計消費支出 | | 店舗調整前 | 店舗調整後 |
| | 季調済指数 | 前月比 | 前年比 | 前月比 | 前年比 | 前月比 | 前年比 | | | | 円 | 前年比 | 円 | 前年比 | 円 | 前年比 |
| 2010年度(年) | ※100.0 | - | ※15.6 | - | ※15.5 | - | ※2.4 | ※100.0 | - | ※▲1.0 | ※429,967 | ※0.5 | ※318,315 | ※▲0.2 | ※▲2.1 | ※▲2.6 |
| 2011年度(年) | ※97.2 | - | ※▲2.8 | - | ※▲3.7 | - | ※2.0 | ※99.8 | - | ※▲0.3 | ※420,500 | ※▲2.2 | ※308,826 | ※▲3.0 | ※▲0.9 | ※▲1.8 |
| 2012年度(年) | ※97.8 | - | ※0.6 | - | ※1.2 | - | ※5.2 | ※99.7 | - | ※▲0.1 | ※425,005 | ※1.1 | ※313,874 | ※1.6 | ※▲0.0 | ※▲0.8 |
| 2012. 10 | 94.3 | 0.3 | ▲4.7 | 0.3 | ▲5.1 | 0.0 | 99.8 | 0.0 | 0.0 | 401,061 | ▲0.5 | 315,161 | 0.3 | ▲2.4 | ▲3.2 | |
| 11 | 93.4 | ▲1.0 | ▲5.5 | ▲1.6 | ▲6.0 | ▲0.4 | 99.5 | ▲0.3 | ▲0.1 | 354,350 | 1.0 | 300,181 | 1.7 | 1.6 | 0.8 | |
| 12 | 94.7 | 1.4 | ▲7.6 | 3.7 | ▲7.8 | ▲1.3 | 99.4 | ▲0.1 | ▲0.2 | 755,418 | 0.8 | 359,482 | 2.2 | 0.7 | 0.1 | |



滋賀銀行 常務取締役
西澤 由紀夫

一年の計

新年明けましておめでとうございます。「一年の計は元旦にあり」。皆さまそれぞれに期待に胸を膨らませつつ、今年1年の構想を練っておられることと存じます。

この「一年の計は・・・」は中国・明代に官僚・学者の馮應京が著した「月令

広義」に言葉の由来があるようです。また、管仲の著書と伝えられる漢代の「管子」には

一年之計。莫如樹穀。
十年之計。莫如樹木。

終身之計。莫如樹人。とあります。即ち「1年後を目標とするなら穀物を植えよ、10年後を目指すなら木を植えよ、永久の繁栄を求めるなら人を育てよ」の意味だそうです。

いつの時代にも不変の真理はやはり「人材育成に尽きる」ようです。

あまりに高度な金融工学を偏重した反動とも言われる、2008年のリーマンショック以降、温もりが感じられ心の通う金融機関行動が改めて期待されるようになりました。

私が初めて支店長職を拝命した時、尊敬する先輩支店長から「支店長の一番大事な仕事は次世代の支店長を何人つくれるか」だと教えられました。

「知恵と親切の提供」を言葉だけでなく行動として表わせる、そんな行員を育てていきたいと考えています。

県内データ あれこれ

工業統計調査(2012年速報)より

製造品出荷額等の産業別トップは“輸送機械”

上位5業種で、全体の5割超を占める

今回は、経済産業省の「工業統計調査(2012年速報)」から、県内製造業の「製造品出荷額等」*の構成比を産業別にみてみたい。

まず全国をみると、合計約284兆円のうち、トップは「輸送機械」だった。出荷額は約55兆円で、構成比は19.3%と全体の2割弱を占めた。以下、「化学工業」(同9.1%)、

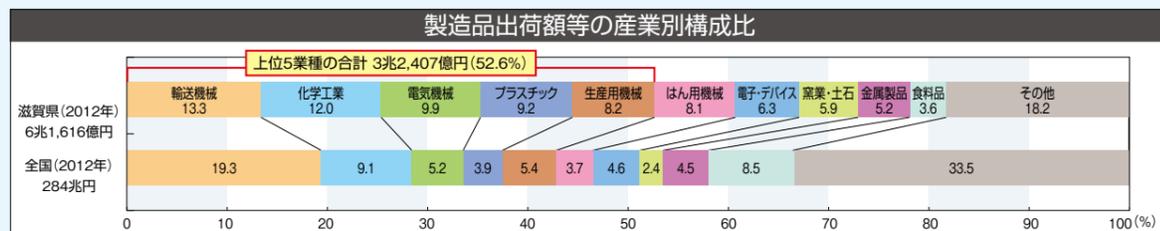
「食料品」(同8.5%)などが続いた。

次に滋賀県内をみると、合計額は約6兆1,616億円で、全国の2.2%を占めた。このうちトップは、全国と同じ「輸送機械」となり、出荷額は約8,186億円で、構成比は13.3%だった。2番目と同じく「化学工業」(同12.0%)となったが、3番目は「電気機械」(同9.9%)が

続いた。また全24産業のうち、上位5産業の出荷額の合計は約3兆2,407億円で、全体の半数を超え、52.6%を占めた。過去5年間をみても、毎年ほぼ同じ産業が上位で推移しており、あまり大きな変化は見られない。

今年も引き続き上位産業が県内のお荷物額をけん引するのか、または他産業の成長等により構成比が変わっていくのか、動向に注目したい。

(株)しがぎん経済文化センター 中村 雅臣



資料：経済産業省「工業統計調査(2012年速報)」(従業者4人以上の事業所) 注：グラフ内の数値は、四捨五入の関係で合計が100%になりません
*製造品出荷額等…1年間の「製造品出荷額」、「加工賃収入額」、「修理料収入額」、「製造工程から出たくず及び廃物」の出荷額と「その他の収入額」の合計で、消費税等の内国消費税を含んだ額

SHIGAGIN TOPICS

TOPICS グリーン購入大賞で「大賞」を受賞

当行は、「第15回グリーン購入大賞」(グリーン購入ネットワーク主催)で「大賞」に選ばれ、平成25年12月13日、東京で表彰式が行われました。

平成10年に創設された同賞は、企業や行政、民間団体の環境に対する優れた取り組みを表彰するもので、環境活動と環境対応型商品の普及拡大を目的としています。当行は平成13年に「優秀賞」、平成14年に「準大賞」、平成19年に「環境大臣賞」を受賞。今回の受賞は4度目で、全国最多となりました。

当行は、環境を主軸としたCSR(企業の社会的責任)を銀行経営の要諦と位置づけ、経営に環境を取り込んだ「環境経営」のもと金融に環境を組み込んだ「環境金融」を展開。地域金融機関として、本業を通じた環境活動に幅広く、

継続的に取り組んでまいりました。今回の受賞は、環境対応型金融商品・サービスの開発と提供が確実に実績をあげ、地域の環境負荷低減に貢献していると高く評価されたものです。



平尾雅彦会長から大道頭取(左)に表彰状が贈られました

イチ押し! pick up

ザルツブルグ洋菓子店

チーズケーキと地元特産の栗スイーツが話題

「ザルツブルグ」。店名の由来は、オーナーが独立前に仕事で訪れたザルツブルグ(オーストリア)の街の美しさに魅了されたから。だからなのか、店頭に並ぶスイーツのどれも美しく仕上がっている。味はもちろんだ。

なかでも、リピート率No.1の人気商品が「スフレチーズケーキ」だ。オランダ産のゴーダチーズをたっぷり使い、じっくり優しく焼き上げられたその味は、ふんわりときめ細かく、口の中で

とけてしまうような食感。一度食べたら忘れられないと好評だ。

さらに、今話題になっているのが「へそくりパイ&へそくりmanju」だ。「手土産として持っていける」をコンセプトに栗東市商工会と共同で開発。売り上げの一部を寄付して、栗東の森林整備に活用されている。どちらも特産の栗を使い、地元はもちろん手土産として贈られた先でも喜ばれている。

「これを機に地元特産品を商品にしていきたい」と語る。

会社DATA

- 本社/栗東市小柿5-17-15
- 設立/1987年
- 代表/奥野 光生
- 従業員数/6名
- 事業内容/洋菓子・焼き菓子の製造・販売
- 問い合わせ先/TEL:077-553-6607



新春

KEIBUN ビジネスセミナー のご案内

半日
コース
実務編

～貿易実務をわかりやすく解説～ 仕事に役立つ「貿易の知識と実務」

貿易業務に携わる方必見講座です!

経済のグローバル化が急速に進み、中堅中小企業の海外進出あるいは貿易取引を開始される比重は、ますます高まっています。今後は今まで以上に、世界マーケットを視野に入れた企業活動が活発化するものと思われます。このような時代においては、「外国為替業務は一部の専門家に任せておけばよい」という考えは見直され、一般教養として必要不可欠な知識であるとの認識に変わってきました。本講座では、信用状(L/C)取引から契約実務のポイントをマスターしていただくことを目的としており、銀行との取引も交えてわかりやすく解説いたします。

| | | |
|--------------|--|--------------------------|
| 開催日時 | 平成26年 1月17日 (金) 13:30～16:30 | |
| 対象者 | 海外取引に携わる方、輸出入部門のご担当の方、営業・管理部門の方 | |
| 受講料 | 会員料金 7,350 円(税込) 一般料金 8,400 円(税込) <small>※会員料金とは、しがぎんビジネスクラブ会員企業の受講料です。※テキスト代を含みます</small> | |
| 会場 | しがぎん浜町研修センター6F(滋賀銀行本店より東へ100m) <small>*会場地図はホームページをご覧ください。 *駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。</small> | |
| プログラム | 1. 荷為替信用状(L/C)の内容 2. 貿易決済と貿易金融について | 3. 貨物の到着と引き取り 4. 質疑応答 |

ズバリ訊く!それがあなたの限界ですか? 若手社員よ!あなたは期待されている!

1日
コース

講師からのメッセージ

「うちの若手社員は、言われたことしかやらない、出来ない理由や言い訳ばかり口に出す、ちょっとしたことで落ち込んでしまう…」といった、トップや上司の嘆きをよく耳にします。本セミナーでは、ビジネス人生にとって大切なこの時期に自分自身と向き合い、具体的に「これからのあり方」を考える場を提供します。自分の会社・仕事に誇りを持って働く意識を、社長・上司になり代わって熱血講師が強烈に働きかけ、「ヤル気」に火をつけます。

| | | |
|-----------------|--|--|
| 開催日時 | 平成26年 1月20日 (月) 9:30～16:30 | |
| 講師 | N&Kネットワーク 代表 天崎 啓一 氏 | |
| 対象者 | 若手・中堅社員、プロ社員を目指す方 | |
| 受講料 | 会員料金 12,600 円(税込) 一般料金 15,750 円(税込) <small>※会員料金とは、しがぎんビジネスクラブ会員企業の受講料です。 ※テキスト代を含みます。昼食は各自でのご準備をお願いいたします。</small> | |
| 特別割引対象講座 | 1社2名以上お申込みの場合は、1名につき 500円割引 をいたします。 | |

| | | |
|--------------|--|---|
| 会場 | しがぎん浜町研修センター6F(滋賀銀行本店より東へ100m) <small>*会場地図はホームページをご覧ください。*駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。</small> | |
| プログラム | 1. 初めて仕事をした時の熱い「思い」をもう一度!今のままの「自分」で本当にいいの? 2. 上司から信頼される部下になろう! 3. できる社員になるために「プロ意識」を身につけよう! | 4. “自分の成長”だけしか考えない人に成長はない!後輩を育てろ! 5. これからの「ビジネス人生」は「自分」次第!「自分磨き」を始めよう! |

お問い合わせ
お申し込み

株式会社しがぎん経済文化センター 人材開発部
 KEIBUNビジネスセミナー **検索**

TEL. **077-526-0005**
<http://www.keibun.co.jp>